

平成30年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉公園野球場 ほか25施設
条例上の設置目的	都市公園法に基づく都市公園施設
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	本施設における、スポーツレクリエーションを通じて、健康増進を図ること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	快適なスポーツレクリエーションの場を提供すること。 各種スポーツの普及、健康増進に関する契機となる事業を企画・実施すること。
制度導入により見込まれる効果	民間事業者の有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上や管理経費の削減を見込んでいる。
成果指標※	① 施設使用者数 ②
数値目標※	① 550,000人/年 以上 ②
所管課	都市局公園緑地部公園管理課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	スポーツクラブNAS株式会社
構成団体 (共同事業体の場合)	
主たる事業所の所在地 (代表団体)	東京都江東区有明3丁目7番18番
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日(5年)
選定方法	公募
非公募理由	
管理運営費の財源	指定管理料、利用料金収入、自主事業収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H30年度実績	達成率※
施設使用者数	551,800人/年 以上	508,867人	92.2%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	H30年度実績
各種教室・講座の開催 65教室以上(H30年度)	69教室

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位:千円)

費目	H30年度	【参考】 H29年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
指定管理料	実績	266,108	264,019	実績－計画	0
	計画	266,108	265,923	計画－提案	△ 4,020
	提案	270,128			
利用料金収入	実績	64,884	64,327	実績－計画	△ 5,606
	計画	70,490	69,789	計画－提案	△ 703
	提案	71,193			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0
	計画	0	0	計画－提案	0
	提案	0			
合計	実績	330,992	328,346	実績－計画	△ 5,606
	計画	336,598	335,712	計画－提案	△ 4,723
	提案	341,321			

イ 支出

(単位:千円)

費目	H30年度	【参考】 H29年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
人件費	実績	176,947	174,643	実績－計画	△ 349
	計画	177,296	176,414	計画－提案	△ 1,773
	提案	179,069			
事務費 管理費	実績	116,744	100,726	実績－計画	△ 15,122
	計画	131,866	131,863	計画－提案	△ 2,442
	提案	134,308			
委託費	実績	17,986	18,329	実績－計画	△ 7,977
	計画	25,963	25,963	計画－提案	△ 481
	提案	26,444			
その他事業費	実績	1,685	2,034	実績－計画	212
	計画	1,473	1,472	計画－提案	△ 27
	提案	1,500			
本社費・共通費	実績	0	0	実績－計画	0
	計画	0	0	計画－提案	0
	提案	0			
合計	実績	313,362	295,732	実績－計画	△ 23,236
	計画	336,598	335,712	計画－提案	△ 4,723
	提案	341,321			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位:千円)

費目		H30年度	【参考】 H29年度
自主事業収入	実績	6,323	7,726
その他収入	実績	0	0
合計	実績	6,323	7,726

イ 支出

(単位:千円)

費目		H30年度	【参考】 H29年度
人件費	実績	514	450
事務費 管理費	実績	2,388	2,955
委託費	実績	2,046	2,206
使用料	実績	21	17
事業費	実績	0	0
利用料金	実績	357	414
その他事業費	実績	0	0
本社費・共通費	実績	0	0
合計	実績	5,326	6,042

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位:千円)

		H30年度	【参考】H29年度
必須業務	収入合計	330,992	328,346
	支出合計	313,362	295,732
	収支	17,630	32,614
自主事業	収入合計	6,323	7,726
	支出合計	5,326	6,042
	収支	997	1,684
総収入		337,315	336,072
総支出		318,688	301,774
収支		18,627	34,298
利益の還元額		0	0
利益還元の内容		市が示す利益還元のほか に自主事業の利益が黒字 化した場合には、自主事 業利益より、施設利用に 係る備品を購入し、千葉 市に寄贈する。	市が示す利益還元のほか に自主事業の利益が黒字 化した場合には、自主事 業利益より、施設利用に 係る備品を購入し、千葉 市に寄贈する。

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績(成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者551,800人の達成	C	達成率92.2%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A: 成果指標が市設定の数値目標の120%以上(ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)

B: 成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満(ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)

C: 成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D: 成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E: 成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2)市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	1.5%の削減

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A: 選定時の提案額から10%以上の削減
 B: 選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C: 選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E: 選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -: 対象外(市の指定管理料支出がない。)

(3)管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	B	C	
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守 リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	B	C	
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	A	B	(市) 溶接やセメントモルタル塗など、高い水準の修繕を指定管理者スタッフが実施し、低コストかつ迅速な修繕を実施している。 クラウドシステムを活用し、施設の一括保守管理を実施。
施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	B	A	(市) 季節や日照時間、気温等に応じ開場時間を延長するとともに、冬季期間は、照明等の無い庭球場を15時以降の利用料金を半額としている。 生活保護家庭、母子家庭を対象に減免を拡大している。 施設の空き状況を利用者の目に留まる場所に掲示し、次回予約の促進を図っている。
開館時間・休館日 利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	B	C	
利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	B	C	
施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成 市内雇用への配慮 障害者雇用の確保 施設職員の雇用の安定化への配慮	B	C	

【評価の内容】

- A: 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B: 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C: 概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D: 一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E: 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
① 施設利用者数の数値目標に対する達成状況が90%台前半で推移していることから、引き続き施設利用者数の増加に努められたい。	H29年度	H30年度から外部告知の強化として、市政たより有料版への掲載、施設毎に掲示するポスターを変える、地域へのチラシポスティング、メールマガジンで施設空き状況の配信を実施し、利用者数の向上に努めている。スポーツ教室に有名元プロ野球選手を招いて無料教室の開催し、集客の向上に努めている。
② アンケート方法や行事案内など、各施設の特徴を活かしたきめ細かな対応を図られたい。	H29年度	職員による聞き取り形式でアンケートを行いつつ、施設情報を提供する場としても活用し、利用者とのコミュニケーション向上を図っている。
③ 自主事業について、各種教室・講座の開催が一部中止となっていることから、実施率の向上に努められたい。	H29年度	天候に左右されない屋内施設での実施を増やした。初心者だけでなく中級者向け、子供向けの教室を増やした。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設にアンケートボックスを設置し、意見の収集を行った。
	回答者数	977件
	質問項目	利用者について、利用施設について
結果		<p>【平成30年6月25日（月）～7月25日（水）】回答者数421件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別 男59.1%、女40.9%（10代8.9%、20代～30代25.1%、40代～50代35.0%、60代～31.0%） ・住居 中央区13.8%、花見川区12.6%、稲毛区15.9%、若葉区11.9%、緑区19.0%、美浜区10.7%、市外16.2% ・交通手段 自動車63.9%、自転車オートバイ25.3%、電車モノレール4.2%、バス0.7%、徒歩5.6%、その他0.2% ・利用頻度 ほぼ毎日0.9%、週3～4回7.3%、週1～2回42.9%、月3回5.0%、月2回13.0%、月1回13.0%、年数回17.8% ・情報源 知人・家族38.7%、HP32.6%、市政だより13.9%、チラシ等2.1%、その他12.7% ・利用目的 健康46.0%、能力の向上4.0%、仲間の交流23.8%、運動不足7.9%、美容0.2%、ストレス解消5.1%、大会9.3%、鍛練0.9%、その他2.9% ・試してみたい種目の有無 ある18.5% ない81.5% ・メルマガ登録 している11.7%、していない87.4%、今からする1.0% ・利用種目 テニス43.9%、野球23.8%、卓球6.3%、バドミントン4.2%、バスケットボール4.4%、バレーボール5.4%、フットサル1.9%、水泳0.7%、ソフトボール0.9%、サッカー0.2%、その他8.2% ・営業時間 ちょうどよい93.6%、朝早くから4.3%、夜遅くまで2.1% ・予約方法 とても良い37.6%、まあ良い47.0%、やや悪い5.5%、非常に悪い1.9%、わからない8.0% ・スタッフ対応 とても良い62.0%、まあ良い33.5%、やや悪い1.0%、非常に悪い0.0%、わからない3.6% ・施設満足度 とても良い40.8%、まあ良い43.2%、やや悪い12.8%、非常に悪い1.7%、わからない1.4% ・お気に入り施設 体育館24.8%、野球場26.2%、庭球場39.4%、屋内運動場2.8%、プール1.4%、球技場0.8%、多目的運動場0.6%、トレーニング室0.6%、弓道場0.3%、その他3.1% ・希望販売品 健康サプリ12.8%、シューズ7.4%、ウェア13.4%、その他66.4% <p>【平成30年12月15日（土）～平成31年1月20日（日）】回答者数556件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別 男59.5%、女40.5%（10代7.9%、20代～30代20.4%、40代～50代44.5%、60代～27.2%） ・住居 中央区10.8%、花見川区13.7%、稲毛区12.8%、若葉区14.4%、緑区17.6%、美浜区14.4%、市外16.4% ・交通手段 自動車65.8%、自転車オートバイ23.3%、電車モノレール4.8%、バス1.8%、徒歩4.3% ・利用頻度 ほぼ毎日0.2%、週3～4回4.7%、週1～2回36.2%、月3回5.1%、月2回16.1%、月1回16.1%、年数回21.7% ・情報源 知人・家族40.0%、HP31.3%、市政だより15.9%、チラシ等1.8%、その他11.1% ・利用理由 家が近い52.5%、職場が近い3.3%、設備が充実13.9%、料金が安い17.4%、レッスン充実2.8%、その他10.2% ・利用目的 健康47.6%、能力の向上7.4%、仲間の交流15.7%、運動不足9.2%、美容1.1%、ストレス解消2.4%、大会11.1%、鍛練2.2%、その他3.1% ・メルマガ登録 している15.4%、していない82.8%、今からする1.8% ・利用種目 テニス51.1%、野球20.4%、卓球5.2%、バドミントン7.0%、バスケットボール3.2%、バレーボール0.9%、トレーニング0.9%、サッカー3.2%、フットサル0.2%、ソフトボール1.8%、その他6.1% ・営業時間 ちょうどよい89.4%、朝早くから8.1%、夜遅くまで2.5% ・予約方法 とても良い33.6%、まあ良い46.8%、やや悪い4.5%、非常に悪い0.7%、わからない10.1% ・スタッフ対応 とても良い61.4%、まあ良い33.2%、やや悪い0.5%、非常に悪い0.7%、わからない4.1% ・施設満足度 とても良い36.4%、まあ良い46.8%、やや悪い13.7%、非常に悪い2.0%、わからない1.1% ・希望販売品 健康サプリ19.9%、シューズ9.9%、ウェア21.7%、その他48.4%

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
プール内で腕時計の着用を認めてほしい	金属製でなければ可とする。暑さ対策としてプール内での鍔付帽子着用、児童監護のための保護者のプール内眼鏡着用も可とする。ただし眼鏡着用時は泳がないこと。
抽選では中々当たらないのに当日行くと幾つも空いている時がある。	事前予約を複数入れ、利用日の直前でキャンセルする利用者も多々いるため、空き状況を施設内での掲示やメール登録者へ配信により随時お知らせするようにしている。
夏季は4時から早朝営業してほしい。	住宅街に隣接する施設での要望であったため、周辺への影響を考慮して土日のみ7時から営業することとした。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	B	所見	<p>市民の皆様へ、快適なスポーツレクリエーションの場を提供し、健康増進を図る事とともに、千葉市の施策と市民ニーズを踏まえ、地域コミュニティとしての交流機能を発揮できるよう管理運営に努めました。</p> <p>施設の利用促進策として、施設無料開放、冬季庭球場の日没利用半額サービス、屋外プールでのポイントカード等の提案事項の履行、有吉公園では庭球場の土日利用者向けに早朝営業を実施。夏季プールでは、快適にご利用いただけるようにルールの改正。</p> <p>また、稲毛海浜公園屋内運動場を使用して、スポーツ選手と市民の交流、元ロッテ選手里崎氏による、少年野球教室を行いました。</p> <p>施設維持管理業務では、施設巡回、日常定期点検による不都合箇所の早期発見、対応に努め、積極的に自営修繕を行うことで委託業者とのバランスを保ち、円滑な維持管理を履行いたしました。</p> <p>人材育成では、年間研修計画に基づき、安全、接客、CSR研修や年2回の防災、避難訓練を実施いたしました。</p>
------	---	----	---

(2) 市による評価

総括評価	B	所見	<p>成果指標に係る数値目標の達成状況は92.2%と目標には達していない。利用者数及び利用料金収入ともに前年度実績を僅かに上回っているが、前年度は1施設が休止しており、全体として横ばいと言える。運営に関しては、概ね好評を得ており、円滑な運営がなされたと評価している。</p> <p>施設の修繕等についても、高い水準の修繕をスタッフが実施しており低コストかつ迅速な修繕が実施できている。</p> <p>また、減免対象の拡大や開場時間の柔軟な運用など、市民サービス、利用者サービスを向上させていると評価できる。</p>
------	---	----	---

【評価の内容】

- A: 市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B: 市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C: 概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D: 管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E: 管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<p>(ア) 市の作成した年度評価案の妥当性について</p> <p>市の作成した年度評価案の内容は、同一の指定管理者の別管理施設に対する評価との均衡について考慮の余地はあるものの、概ね妥当であると判断される。</p> <p>(イ) 管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について</p> <p>a スポーツ施設とノウハウを共有する等、更なるサービス水準の向上に努められたい。</p> <p>b 屋外施設であるため、外的要因は多いものの、利用者数の増加に努められたい。</p> <p>c 経費削減の努力は大いに認められるので、継続できるよう努められたい。</p> <p>d 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、直近の状況については増収増益であることから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。</p>
--